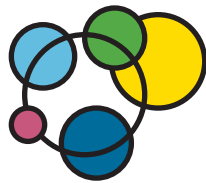


そわにえ
Soigner
第31号



「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2016年7月20日発行

発行/東京訪問看護ステーション協議会(責任者 山元恵子)
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
株式会社プロコムインターナショナル内
TEL: 03-5520-8824 / FAX: 03-5520-8820
<http://www.tokyohoukan-st.jp>

INDEX/

- ぼん・くらーじゅ …………… ① わかりやすい経営学 …… ③
- 総会報告 …………… ② ステーション紹介 …… ④
- 熊本地震 …………… ② 進んでいますか? ICT化 …… ⑥
- 避難所で見えたこと・感じたこと …… ② 編集後記他 …………… ⑧



国立西洋美術館(上野)



「小児在宅医療」のすすめ

医療法人財団はるかか会

前田 浩利

当法人は、東京では、子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田と訪問看護ステーションそらで、小児在宅医療をメインに活動しています。NICU、PICUから様々な医療機器をつけて地域に移行する患者は年々増え、ケアも益々複雑化し、「子どもの在宅医療は大変そう」と感じておられる方も多いと思います。確かに医療機器の多さ、親への対応など、大変な部分もありますが、子どもを思う親の愛情と献身的な姿に触れたとき、あるいは、笑わなかった子どもが笑ったとき、成長を感じた時の喜びは大きいです。

今年3月に自宅で看取った白血病の13歳のお子さんも忘れがたい患者さんでした。白血病細胞が、脳や脊髄に浸潤し、四肢麻痺、嚥下障害、呼吸不全があり、胃食道逆流による嘔吐に伴う誤嚥を繰り返していました。胃管を入れれば数日は命がもつかもと胃管留置を勧める私た

ちにお母様は、「1年以上本当に苦しい治療をここまで頑張ってきたから、最後は本人に選ばせたいんです。」と言われ、本人に問いかけます。「胃に鼻から管を入れたら、吐くのが治まるって、どうする、入れる、入れない、決められないからお母さんに任せる。3つのうちどっち」と涙ながらに問いかけます。本人は2つ目でわずかに頷きます。更に同じ問いかけをされます。でも、2つめでウン。「わかった、入れないよ」とお母様は言われ、「本人の気持ちを大事にしてあげたいです。」と涙でくしゃくしゃになって私たちに言われました。親として1分1秒でも長く生きてほしい、でも懸命に白血病と闘ってきた本人の気持ちを大事にしたい、その葛藤で引き裂かれるような想いが、「お母さんに任せる」3つ目の選択肢に託されていたのです。もちろん、私たちは、その親子の選択に従い、胃管を入れず、麻薬の量を増やして対応しました。その数時間後、思いがけず嘔吐が治まり、多くのクラスメイトに会った後、その子は旅立ちました。その親子のような子を思う親の愛、親を求める子どもの愛、そんな愛に出会える子どもの在宅支援が広がることを切に願っています。

Bon Courage
ぼん・くらーじゅ